

困ったときに頼れる人や協力してくれる相手が見つからず、不安を感じることもあります。でも、**地域には子ども会を応援してくれる可能性がある人や団体がたくさん**います。まずは身近なところから、支援の輪をつなぎ、広げてみましょう。

(1) 支援者・協力先の紹介

区分	課題	頼れる先・仕組み	活用のポイント・具体例
①行事の企画で頼りたい	行事を考 えるとき、協 力者がいな い	・アシストバンク※など	企画段階で相談すると、講師派遣・物品貸出・アイデア提供などが受けられる。 行事運営のお手伝いが増える。 ※令和8年1月現在、8区で事業展開中。
②地元・地域に頼りたい	自治会との つながりが 弱い	・自治会・町内会長 ・学区連絡協議会など	行事前に相談しておく与会場使用・掲示板告知・備品貸出などの協力が得やすい。 地域行事の日程と重ならないよう調整。 定期的に顔を合わせる機会をつくと信頼関係が深まりやすい。 連絡はショートメールやLINEも併用してスムーズに。
③新規加入者を増やしたい	子ども会の 存在が知ら れていない	・学校・PTA・学区子連 など	学校配布物として入会案内チラシを配布。入会説明会を「体験イベント（ミニゲーム・工作体験など）」として行うと関心を持たれやすい。
④支え手を増やしたい	行事を手伝 う人が少な い	・子ども会ボランティ アサークル、ジュニア リーダー、学生ボ ランティア、大学のゼ ミ、地域団体など	若い世代と協働することで活気が出る。（例）名市大三浦ゼミ×御劔学区子ども会が合同で夏まつりを実施。大学生が運営サポートに参加。



大学生と御劔学区子ども会の連携

御劔学区子ども会では、保護者のみならず、名古屋市立大学三浦ゼミの学生が協力し、子どもたちを温かく見守りながら行事をサポートしています。

御劔学区子ども会では、**子どもたちが主体的に企画や運営に関わることを**大切にしています。クリスマス会の準備では、子どもたちが出し物ごとにグループを作り、目標や進行、準備品を自分たちで決めて進めており、**中学生のリーダーがまとめ役**となり、大学生が企画運営をサポートしています。

学生や地域の大人と関わりながら子どもが成長できる場——大学生と御劔学区子ども会の連携は、そんな温かな交流を生み出す取組みとなっています。



子ども会活動アシストバンクの活用！

名古屋市では、子ども会活動における**行事の企画や運営の負担軽減**を図り、より魅力的な子ども会活動ができるようアシストするため、令和3年度から「子ども会活動アシストバンク」を実施しています。（令和8年1月現在、西区、中川区、港区、南区、守山区、緑区、名東区、天白区の8区が対象）。ここでは、子ども会活動のアシストする以下のような活動を行っています。



子ども会活動
アシストバンク

- ① **活動アシスタント（ボランティア）の紹介や行事に来てくれる講師の検索**
- ② **子ども会からの相談対応**
- ③ **アシストバンクサイトでの子ども会運営情報の発信 など**

対象区の子ども会のみなさんは、行事内容に困ったら、ぜひ活用してみてください！将来的には、全区が対象となるように準備を進めています。

